

まちの話 だい

11月16日 | 地元の宝をみんなで保存

市指定文化財の長谷川家長屋門（落合）で、大津小4年生約60人が「かやぶき屋根」の修理作業に挑戦しました。

同様の学習会は市内初。児童たちは、かやぶき業者からカヤの種類や「こて」などのふき替え道具について学びました。続いて、実際に交代で足場に登り、屋根にカヤを叩き込む体験をするなどして、地元文化財への関心を深めました。



11月9日 | 代表チームが事前合宿

2020年の東京五輪に向けた事前合宿で、モンゴル国のボクシング代表選手団が来島。監督とコーチを含め17人が、11月6日～13日の間ローズアリーナに設置された専用リングでの練習や、市内学校での児童たちとの交流などを行いました。

選手団は、2020年まで毎年市内で事前合宿を行い、日本の気候や食生活、生活習慣を体感し、五輪でのメダル獲得へ準備を進めていきます。

11月18日 | 未来の仕事に挑戦

小学生が仕事の意義や地域の魅力を知る職業体験イベント「こどもわくワーク」が、市内各所で行われました。今回は、動画制作などICTを活用した職業体験も、新たに実施されました。

島田工業高校では、小学生8人が電気自動車作りに挑戦。児童たちは、高校生に手ほどきを受けながらプログラミングを行い、実際に入力した通りに車が走ると、声を上げて喜んでいました。

